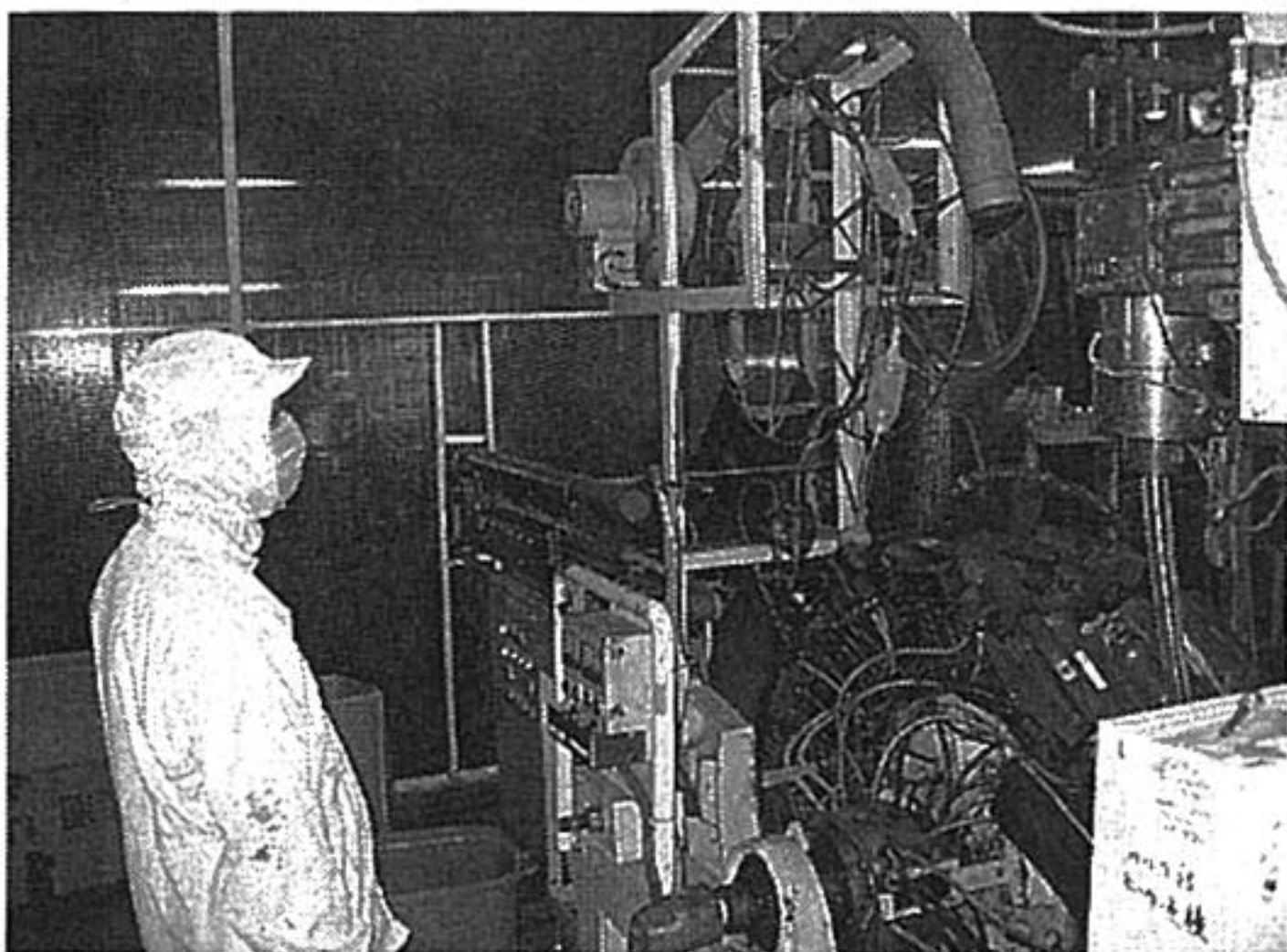


# 飲料容器の成型・充てん機

# 備南工業、インド開拓

## 年内に成約11号目指す

食品機械メーカーの備南工業（広島県福山市、小坂章則社長）は飲料容器の成型機と中身の充てん機でインド市場の開拓に乗り出す。現地でパック入りのジュースなどの加工食品を購入する消費者が増えており、食品加工会社の需要拡大が期待できると判断した。代理店を通じて現地企業と交渉中で、年内をメドに第1弾の契約を目指す。



成型機と充てん機の2台1セットで売り込む。成型機はポリエチレンの小さい粒を熱で溶かして空気を注入。出来上がった管のような細長い透明な容器を金型ではさんで型を付ける。この容器の先から充てん機でジュースなどを注入すると商品輸出するのと同タイプの成型機。充てん機とあわせて販売する（福山市の工場）

ができる。

価格は2台合わせて3000万円程度となる予定。連続して作業できるように調整しながら顧客企業に一括販売する。

同社は約20年前から成型・充てん機を韓国や台湾に輸出。現在は中国やタイのほか、米国やメキシコ、ヨルダンなど11カ国・地域に達しており、海外向けの年間売上高は多い時で2億円程度になるといふ。

インドに着目したのは急速な経済成長が期待される国の一つで、国民の所得水準が向上して飲料など加工食品に対する消費が増えることを見込んでいる。

「他にも市場として有望な国や地域があるか、引き続き探っていきたい」（小坂社長）という。

同社は飲料のほか、豆腐などの食品を入れる容器の成型機や充てん機の開発を得意としている。2009年12月期の単独売上高は前期比8%増の約4億8000万円を見込んでいる。